



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月14日

上場会社名 株式会社PR TIMES 上場取引所 東 名
コード番号 3922 URL <https://prtimes.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山口 拓己
問合せ先責任者 （役職名）取締役 PR本部長 （氏名）三島 映拓 TEL 03-5770-7888
半期報告書提出予定日 2025年10月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	4,674	20.1	2,043	92.0	1,892	97.4	1,885	97.4	1,272	100.4
2025年2月期中間期	3,892	18.5	1,064	10.3	958	7.6	955	7.3	634	5.6

（注）包括利益 2026年2月期中間期 1,270百万円（98.8%） 2025年2月期中間期 639百万円（6.4%）

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	94.35	93.45
2025年2月期中間期	47.23	46.74

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	9,784	8,115	81.8	592.90
2025年2月期	8,241	6,904	82.9	506.74

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 8,000百万円 2025年2月期 6,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	10.30	10.30
2026年2月期	—	0.00			
2026年2月期（予想）			—	13.60	13.60

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日（2025年10月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,522	19.0	3,973	82.7	3,600	91.8	3,581	91.2	2,410	115.4

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正については、本日（2025年10月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年2月期中間期	13,519,307株	2025年2月期	13,502,238株
2026年2月期中間期	24,895株	2025年2月期	23,908株
2026年2月期中間期	13,484,440株	2025年2月期中間期	13,444,201株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、2025年10月14日(火)に当社ウェブサイトに掲載予定であります。また、同日に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)の当社グループにおきましては、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」というミッションを実現するため、引き続き主力事業であるプレスリリース配信サービス「PR TIMES」の基盤強化、SaaS型ビジネス向けツールの「Jooto」及び「Tayori」の事業成長に向けた活動を中心に認知度向上並びに新たな顧客層の獲得を目指してまいりました。

「PR TIMES」の利用企業社数は116,930社(前年同期比15.4%増)に達し、国内上場企業のうち63.9%の企業にご利用いただいております。プレスリリース件数は2025年7月に過去最高となる月間42,587件を記録しております。また、配信先媒体数は10,937媒体、メディアユーザー数は28,475名、パートナーメディア数は264媒体となり、プレスリリースの月間サイト閲覧数は2024年10月に7,496万PVを記録しております。

タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」とカスタマーサポートツール「Tayori」は、有料利用数及び平均利用単価を重要指標として利用拡大及びサービス向上に取り組んでまいりました。その結果、「Jooto」の有料利用数は2,565社(前年同期比5.8%増)、1社あたりの平均利用単価は13,033円(前年同期比27.8%増)となり、「Tayori」の有料利用数は1,514アカウント(前年同期比20.7%増)、1アカウントあたりの平均利用単価は9,897円(前年同期比32.6%増)となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は4,674,389千円(前年同期比20.1%増)、EBITDAは2,043,527千円(前年同期比92.0%増)、営業利益は1,892,205千円(前年同期比97.4%増)、経常利益は1,885,445千円(前年同期比97.4%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,272,321千円(前年同期比100.4%増)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントにおける「プレスリリース配信事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末における総資産は9,784,482千円となり、前連結会計年度末に比べ1,542,797千円の増加となりました。

流動資産におきましては、当中間連結会計期間末残高は8,185,944千円となり、前連結会計年度末に比べ1,590,170千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,411,355千円によるものであります。

固定資産におきましては、当中間連結会計期間末残高は1,598,538千円となり、前連結会計年度末に比べ47,372千円の減少となりました。これは、有形固定資産の減少17,386千円、無形固定資産の減少66,197千円、投資その他の資産の増加36,211千円によるものであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,669,287千円となり、前連結会計年度末に比べ332,102千円の増加となりました。

流動負債におきましては、当中間連結会計期間末残高は1,668,118千円となり、前連結会計年度末に比べ332,436千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の増加291,283千円、契約負債の増加132,935千円、その他の減少70,669千円によるものであります。

固定負債におきましては、当中間連結会計期間末残高は1,169千円となり、前連結会計年度末に比べ334千円の減少となりました。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産合計は8,115,194千円となり、前連結会計年度末に比べ1,210,695千円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上1,272,321千円、剰余金の配当138,826千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は7,016,616千円となり、前連結会計年度末に比べ1,411,355千円の増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,650,089千円（前年同期は479,908千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,857,982千円、法人税等の支払額305,093千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は96,145千円（前年同期は208,354千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12,179千円、投資有価証券の取得による支出70,006千円、出資金の払込による支出12,550千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は142,588千円（前年同期は711千円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額138,654千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力事業であるプレスリリース配信サービス「PR TIMES」は堅調に推移しており、2026年2月期第2四半期のプレスリリース件数は前年同期比19.1%増と、2023年2月期第1四半期以来、13四半期ぶりに成長率が15%を超えました。また、その周辺領域で注力する「PRパートナーサービス」は、データとAIビジネス実証に対する大企業顧客からの評価が契約継続につながり、計画以上の立ち上がりを見せております。

タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」及びカスタマーサポートツール「Tayori」は、有料利用数と平均利用単価の双方を伸ばし、高成長を見込んだ計画に対して順調に進捗しております。

さらに、当社の連結子会社である株式会社グルコース及び株式会社NAVICUSは、ともに高水準の稼働を背景に想定を超える受注を確保し、利益への貢献を拡大しております。

これらを踏まえ、通期の売上高予想を見直したこと等により、通期の業績予想を修正いたします。

詳細については、本日（2025年10月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正ならびに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,605,260	7,016,616
受取手形、売掛金及び契約資産	832,349	1,008,509
その他	196,141	201,140
貸倒引当金	△37,979	△40,322
流動資産合計	6,595,773	8,185,944
固定資産		
有形固定資産	282,585	265,199
無形固定資産		
のれん	95,486	80,002
その他	358,693	307,979
無形固定資産合計	454,179	387,981
投資その他の資産	909,146	945,357
固定資産合計	1,645,911	1,598,538
資産合計	8,241,684	9,784,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,398	101,187
未払法人税等	327,198	618,482
契約負債	264,210	397,145
賞与引当金	66,285	71,703
株主優待引当金	40,320	—
その他	550,268	479,599
流動負債合計	1,335,681	1,668,118
固定負債		
その他	1,504	1,169
固定負債合計	1,504	1,169
負債合計	1,337,185	1,669,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	446,317	465,786
資本剰余金	421,317	440,786
利益剰余金	6,010,403	7,143,898
自己株式	△51,616	△51,700
株主資本合計	6,826,422	7,998,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,528	2,056
その他の包括利益累計額合計	3,528	2,056
新株予約権	73,946	113,813
非支配株主持分	601	553
純資産合計	6,904,499	8,115,194
負債純資産合計	8,241,684	9,784,482

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	3,892,014	4,674,389
売上原価	602,994	738,653
売上総利益	3,289,020	3,935,736
販売費及び一般管理費	2,330,533	2,043,531
営業利益	958,487	1,892,205
営業外収益		
受取利息	11	2,817
保険解約返戻金	—	3,806
償却債権取立益	822	1,350
その他	362	231
営業外収益合計	1,196	8,205
営業外費用		
支払利息	245	416
出資金運用損	1,401	6,416
為替差損	1,218	—
支払手数料	—	4,530
情報セキュリティ対策費	—	1,707
その他	1,551	1,893
営業外費用合計	4,417	14,964
経常利益	955,266	1,885,445
特別損失		
投資有価証券評価損	—	27,463
特別損失合計	—	27,463
税金等調整前中間純利益	955,266	1,857,982
法人税等	320,368	585,709
中間純利益	634,898	1,272,273
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△26	△48
親会社株主に帰属する中間純利益	634,925	1,272,321

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	634,898	1,272,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,337	△1,472
その他の包括利益合計	4,337	△1,472
中間包括利益	639,235	1,270,800
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	639,262	1,270,848
非支配株主に係る中間包括利益	△26	△48

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	955,266	1,857,982
減価償却費	61,976	76,291
のれん償却額	28,700	15,484
投資有価証券評価損益(△は益)	—	27,463
出資金運用損益(△は益)	1,401	6,416
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,245	2,342
賞与引当金の増減額(△は減少)	60	5,418
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△20,090	△40,320
受取利息及び受取配当金	△11	△2,817
支払利息	245	416
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△91,424	△176,159
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,242	13,788
未払金の増減額(△は減少)	△41,504	△167,098
契約負債の増減額(△は減少)	104,953	132,935
その他	△81,998	201,962
小計	911,578	1,954,108
利息及び配当金の受取額	11	1,490
利息の支払額	△245	△416
法人税等の支払額	△431,435	△305,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	479,908	1,650,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,514	△12,179
無形固定資産の取得による支出	△98,325	△4,455
投資有価証券の取得による支出	—	△70,006
敷金及び保証金の回収による収入	270	—
出資金の払込による支出	△30,000	△12,550
その他	△785	3,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,354	△96,145
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	—	△138,654
リース債務の返済による支出	△398	△319
自己株式の取得による支出	△313	△83
その他	—	△3,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711	△142,588
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	270,842	1,411,355
現金及び現金同等物の期首残高	4,536,792	5,605,260
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,807,635	7,016,616

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、中間連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレスリリース 配信事業				
売上高					
「PR TIMES」及び「PR TIMES」 関連サービス	3,414,819	—	3,414,819	—	3,414,819
ビジネス向けSaaSサービス	156,178	—	156,178	—	156,178
その他	—	321,017	321,017	—	321,017
顧客との契約から生じる収益	3,570,997	321,017	3,892,014	—	3,892,014
外部顧客への売上高	3,570,997	321,017	3,892,014	—	3,892,014
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	80,889	80,889	△80,889	—
計	3,570,997	401,906	3,972,904	△80,889	3,892,014
セグメント利益	957,525	962	958,487	—	958,487

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業及びSNSマーケティング支援事業であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレスリリース 配信事業				
売上高					
「PR TIMES」及び「PR TIMES」 関連サービス	3,932,055	—	3,932,055	—	3,932,055
ビジネス向けSaaSサービス	273,900	—	273,900	—	273,900
その他	—	468,433	468,433	—	468,433
顧客との契約から生じる収益	4,205,956	468,433	4,674,389	—	4,674,389
外部顧客への売上高	4,205,956	468,433	4,674,389	—	4,674,389
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,269	127,009	128,278	△128,278	—
計	4,207,225	595,442	4,802,668	△128,278	4,674,389
セグメント利益	1,775,400	116,804	1,892,205	—	1,892,205

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業及びSNSマーケティング支援事業であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)
該当事項はありません。